設置構想中

令和８年４月
情報工学系大学院を設置・再編予定！

博士前期課程

工学研究科

機械システム工学専攻
知能ロボット工学専攻
電子・情報工学専攻
環境・社会基盤工学専攻
生物・医薬品工学専攻

→

設置・再編後（R8.4.1）

NEW

情報工学研究科（仮称）
入学定員 62名

データサイエンス専攻（仮称）	14名
情報システム工学専攻（仮称）	24名
知能ロボット工学専攻（仮称）	24名

工学研究科
入学定員 84名

機械システム工学専攻	24名
NEW 電気電子工学専攻（仮称）	15名
環境・社会基盤工学専攻	15名
生物・医薬品工学専攻	30名

博士後期課程

工学研究科

総合工学専攻

→

設置・再編後（R8.4.1）

NEW

情報工学研究科（仮称）
入学定員 4名

情報工学専攻（仮称）	4名

工学研究科
入学定員 6名

総合工学専攻	6名

公立大学法人
富山県立大学
TOYAMA Prefectural University

https://www.pu-toyama.ac.jp/

設置構想中

各専攻の特色

博士前期課程

情報工学研究科（仮称）

データサイエンス専攻（仮称）

情報工学を基盤とするデータサイエンスの先進的な数理的理論やデータ分析法を教育し、革新的な技術開発により新たな価値を創造する能力を備えた人材を育成します。さらに、応用実践を通して、主体性や協調性を涵養し、グローバルに活躍できる創造性豊かな人材を育成することを目的とします。人を包含する広範な「システム」に内在する情報の処理・利活用のためのデータ応用技術や、数理にもとづいた先進・融合的で汎用的なデータ分析基盤の創出、人が中心となる先進的なインタフェース技術の開発に関する研究を行っていきます。

情報システム工学専攻（仮称）

技術革新を支える情報システムの分野に関する教育・研究を行うことで、創造性と柔軟性を持ちながら幅広い知識を総合的に活用し、人々や人工知能と協力して社会の幸福の向上に貢献できる人材を養成します。理論の追求と地域への実践を志向し、センサ利用技術・ソフトウェア応用技術による高度な情報システムや、人の行動認識・変容技術、3次元情報取得技術などを学び、VRやテレイグジスタンスなどの分野で現実と仮想世界のデータ解析・提示に取り組みます。

知能ロボット工学専攻（仮称）

機械工学、電子工学、情報工学のいずれかを基盤に、これらを統合して革新的なロボット学研究をリードする教育・研究を行います。産業界が求める最先端スキルに加え、異なる学問領域との交流を通じて広い視野を養い、地域とグローバル社会の双方に貢献できる人材を育成します。情報技術やAIを駆使し、社会と共存する賢いロボットの開発、知的インタフェースによるユーザー体験の革新、精密工学を支える計測と加工技術の開発、最先端の電子デバイスの設計や開発に貢献できる人材を目指しています。

工学研究科

電気電子工学専攻（仮称）

現代社会を支える高度なハードウェアやシステムに関する教育研究を行い、幅広い知識及びそれらを総合する能力を有し、創造性に富み、社会の変化に柔軟に対応できる人材を養成します。特色として、現代社会になくてはならない電気電子分野である半導体、パワーエレクトロニクス、集積回路、デバイス材料、光波計測、電磁波応用、システム制御やネットワークを専門とする各教員が、それぞれの分野の技術や研究内容について、基礎的な事項から丁寧に講義するとともに実際の社会への応用例を紹介します。

博士後期課程

情報工学研究科（仮称）

情報工学専攻（仮称）

急激に変化し多様化する地域や国際社会が直面する諸問題に対して課題設定ができ、その解決策の立案と遂行能力を有する人材を養成します。データサイエンス、情報システム工学、及び知能ロボット工学の学問分野の先端的な教育研究を行い、各専門領域の高い学識を身につけ、情報工学の発展及び社会の持続的発展に貢献できる人材を育成します。また、本学の特徴を活かした工学研究科及び看護学研究科との連携によって、情報工学に加え広く工学や看護学の先端的な研究内容を教授する「分野横断型特別講義」を開講し、学生の研究者としての知見を広げます。

選抜方法（予定）

※内容は予定ですので、必ず令和7年度以降に公表予定の「入学者選抜要項」「学生募集要項」を確認してください。

博士前期課程

試験区分		一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
情報工学研究科	データサイエンス専攻	学力検査（口述試験、事前提出のTOEIC/TOEFLスコア）及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。		面接（口述試験を含む。）の結果及び成績証明書の内容等を総合判断して行う。
情報工学研究科	情報システム工学専攻	学力検査（筆記試験、口述試験、事前提出のTOEIC/TOEFLスコア）及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。		
情報工学研究科	知能ロボット工学専攻			
工学研究科	電気電子工学専攻	学力検査（筆記試験及び口述試験（面接を含む。））の結果及び成績証明書の内容等を総合判断して行う。		

※学力検査の出題等についてはホームページで公表
※各専攻では、一般選抜において、事前の書類選考で受験資格を有すると認められた者を対象に「面接試験」による選抜を実施し、本学が認めた者には「学力検査（筆記試験、口述試験及び事前提出のTOEIC／TOEFLスコア）」を免除する。

博士後期課程

試験区分		一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
情報工学研究科	情報工学専攻	口述試験の結果及び成績証明書の内容等を総合的に判断して行う。		

構想概要（予定）

情報工学研究科　博士前期課程：修業年数2年

データサイエンス専攻
情報システム工学専攻
知能ロボット工学専攻
→ 修士（情報工学）又は修士（工学）

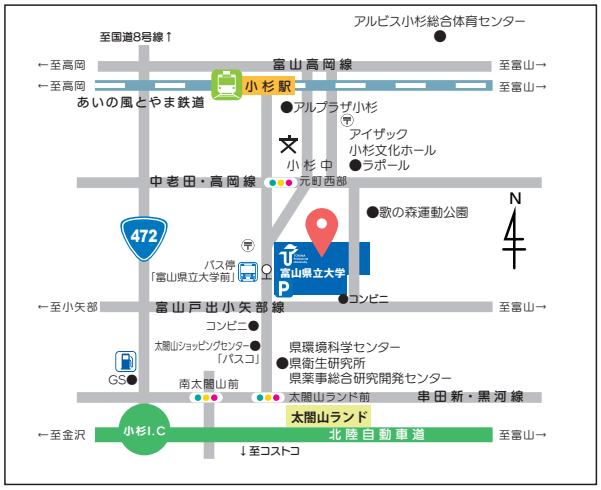
工学研究科　博士前期課程：修業年数2年

電気電子工学専攻　修士（工学）

情報工学研究科　博士後期課程：修業年数3年

情報工学専攻　博士（情報工学）又は博士（工学）

ACCESS Map（射水キャンパス）



お問合せ

富山県立大学事務局　経営企画課（大学院開設担当）
〒939-0398 富山県射水市黒河 5180
［TEL］0766-56-7500（代表）　https://www.pu-toyama.ac.jp/g_information_engineering/

ホームページにアクセス！

※設置構想中のため、本内容は今後変更になることがあります。